ASSOCIATION NEWS 協会NEWS

2019年　年頭所感

2019年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、福岡県は、人口減少が問題となっている日本において、人口が増加している数少ない都市の一つです。ネット社会の発達により、どこで、どんな仕事をするのか、個人の選択肢は自由度を増しており、充実した都市機能と豊かな自然環境が共存する福岡は、住みやすい街として認識されています。また、アジアに開かれた都市として、中国や韓国から多くの人が訪れるなど、観光客も年々増加しています。

福岡県では、このインバウンドの急増に伴い、インフラ整備事業も数多く進められるなど未来に向けて活性化が図られる一方、2017年7月に甘木朝倉地区を襲った豪雨災害が甚大な人的・財産的被害をもたらしたことから、年々大型化する自然災害に対する備えも重要となっています。

福岡県建設業協会としましては、地域建設業界の力を結集させ、社会資本の整備・維持管理や災害時の緊急対応・復旧復興活動等、地域の安全安心を守る産業としての役割をしっかりと果たして参りたいと考えております。

また、喫緊の課題である担い手の確保については、今後さらに人材不足の拡大が懸念されます。このような中「働き方改革」が昨年成立しましたが、国土交通省では、建設業における週休2日の確保をはじめとした働き方改革をさらに加速させるため「建設業働き方改革加速化プログラム」が実施されております。私たちの上部団体である全国建設業協会でも「休日ツキイチプラス」運動が推進されるなど、建設業の働き方改革の実施に向けた取り組みが進められているところですが、当協会としましても行政や関係団体と協調しながら、建設業の労働環境改善につながるようしっかり取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、働く人が将来を託せる・夢を描ける建設産業となるよう、会員一丸となって諸課題に取組んで参りますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願いします。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 福岡県建設業協会 会長 松本 優三

「優秀施工者知事顕彰受賞」おめでとうございます

10月26日に行われた「福岡県建設業構造改善推進大会」において、優秀施工者知事顕彰受賞者（19名）のうち、当協会会員からは、谷口孝一さん（㈱へいせい）、山田章史さん、山本和宏さん（㈱内藤工務店）の3名が受賞しました。

献血重点月間、総勢300名超が協力！

当協会では、毎年献血者が減少する11月から12月を「献血重点月間」に設定し、社会活動の一環として「献血活動」を行っています。11月5日（月）6日（火）に久留米市で、11月21日（水）に福岡市で開催された献血バスによる献血や、固定施設（福岡市内3ヶ所、北九州市内2ヶ所）での献血に、総勢300名を超える方々のご協力をいただきました。

「勤マルの日」社会貢献活動で天神地区を清掃

当協会が社会貢献活動の一つとして実施している「清掃活動」を、平成30年11月17日（土）に実施しました。今回参加したのは、当協会会員が148名、福岡建設専門学校から179名、計327名。開会式会場の天神中央公園からスタートして、東は大博通り手前、北は須崎公園手前、西は警固公園、南は春吉までのエリアを13区域に分け、約20人がチームとなり各々の担当エリアを掃除。参加した学生は、「煙草の吸い殻が多かった」「街がキレイになると嬉しい」と話してくれました。